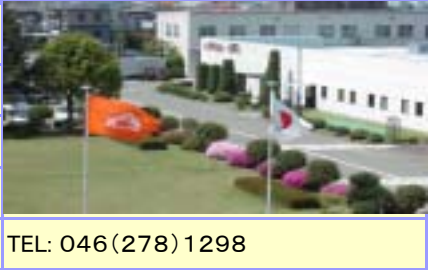
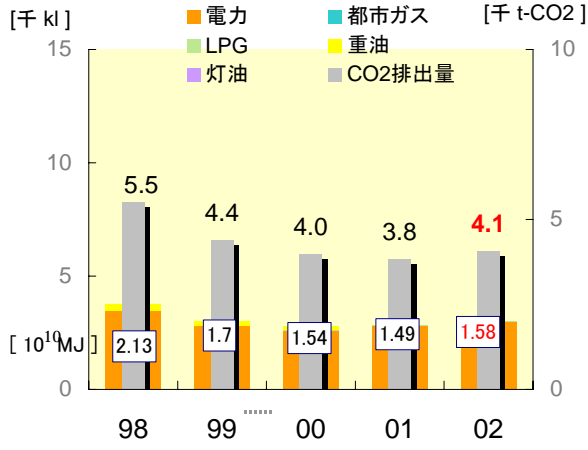


日本ビクター株式会社 大和工場

都道府県名	神奈川県			
所在地	大和市下鶴間1644番地			
主要製品	オーディオ、ビジュアル、コンピュータ関連機器の開発製造販売			
ISO14001認証 取得年月	1998年8月	最新更新年月	2002年7月	
問合せ先	大和総務センター環境推進事務局		TEL: 046(278)1298	

- パフォーマンスデータ
- 順法データ
- 取組み紹介
- 環境方針

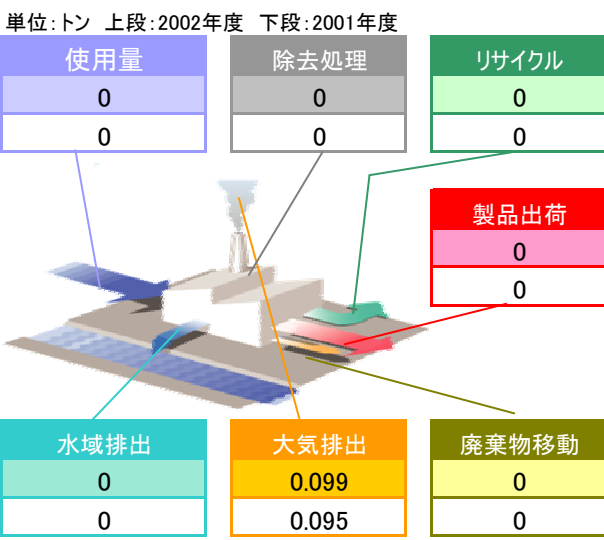
■エネルギー使用量



※電気CO2排出量係数は **0.357** で算出しています。
(ただし電気は1998年の係数で算出)

具体的な施策として照明設備を高効率タイプへ交換
空調設備のヒートポンプ化
成型機歩留向上効果

■化学物質マテリアルバランス



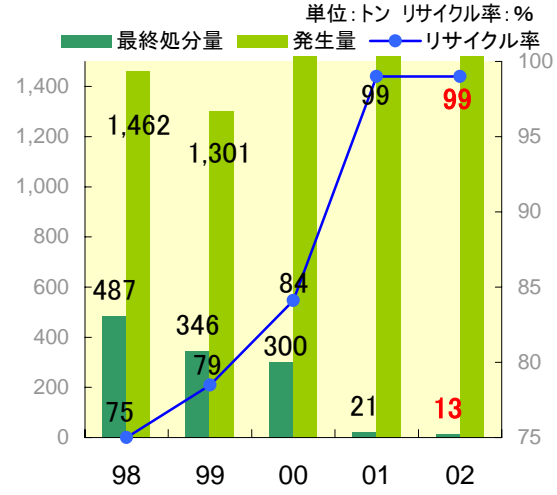
本下水道接続による汚泥処理削減
RDFリサイクル業者発掘
有価物促進

■大気汚染物質排出量

NOx	t
Sox	t

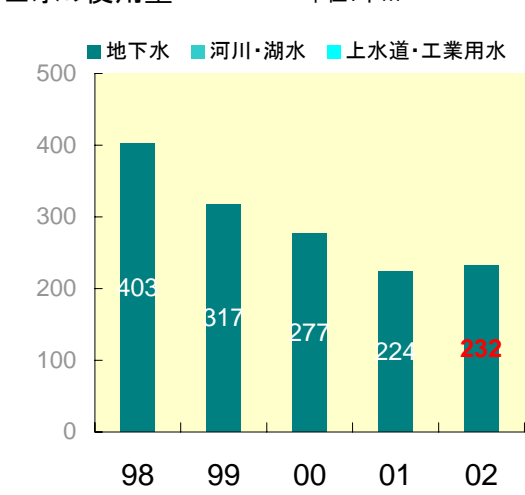
対象施設: ボイラー、過熱炉、乾燥炉、ガスタービン等 無し

■産業廃棄物・有価発生物



本下水道接続による汚泥処理削減
RDFリサイクル業者発掘
有価物促進

■水の使用量



■水質汚濁物質負荷量

COD	t
窒素	t
リン	t

■大気 (大気汚染防止法、条例・協定)

項目	施設名	規制値	実測値		
			平均値	最大値	測定頻度
NOx (ppm)	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—
Sox Nm ³ /h	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—
ばいじん g/Nm ³	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—

主要な施設について記載

■水質 (水質汚濁防止法、条例・協定)

項目	規制値	実測値			
		平均値	最大値	測定頻度	
pH(中性7)	5.8~8.6	7.78	8	1回/月	
BOD	60	4.62	13	1回/月	
COD	60	5.66	16	1回/月	
SS	90	3.08	12	1回/月	
ノルマルヘキサン	鉍物油	5	1.13	1.6	1回/月
抽出物質	動植物油	10	—	—	—
フェノール	0.5	<0.05	<0.05	1回/年	
銅	3	<0.05	<0.05	1回/年	
亜鉛	3	0.15	0.15	1回/年	
溶解性鉄	10	<0.10	<0.10	1回/年	
溶解性マンガン	1	—	—	—	
全クロム	2	<0.10	<0.10	1回/年	
大腸菌群数(個/cm ³)	3000	359	1100	1回/月	
窒素	120	14.89	31	1回/月	
リン	16	0.52	1.9	1回/月	
よう素消費量	—	—	—	—	
	—	—	—	—	
	—	—	—	—	

主要な排水口について記載

以下の健康項目は定量下限値及び規制値以下です

カドミウムおよびその(以下「/」と表記)化合物、シアン化合物、有機リン化合物、鉛/化合物、六価クロム化合物、ヒ素/化合物、総水銀、アルキル水銀化合物、PCB、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン/化合物、ほう素/化合物、ふっ素/化合物、アンモニア・アンモニウム化合物および亜硝酸化合物および硝酸化合物(窒素)

■悪臭/騒音・振動/その他の順守状況

悪臭	(対象外)
騒音・振動	基準値超過なし
	報告すべき事項はありません

注釈>>>

・「規制値」は法または条例および協定の値を記載しています

・「—」は規制対象外または実測値なしを、「ND」は定量以下(不検出)を示します※2 ()は日間平均値です

※1 ()は日間平均値です

取組み紹介

大和工場は準工業地域に位置しており、本社機能や、多くの事業部門を持つ複合事業体であります。主な事業概要としては、音響・映像・情報通信機器関連及びAVアクセサリ商品、光ディスク、光ピックアップ、各種印刷物等の開発、設計、製造、販売等を中心とした事業活動を行っております。

環境活動は、1998年8月にISO14001の認証取得を受け、環境の改善は企業の社会的責任であることを深く認識して、事業活動により生ずる環境影響を常に考慮し、環境負荷の継続的改善に努めています。また、環境保全活動を推進する為の組織、体制を整備すると共に、環境関連の法規制及びその他の要求事項を遵守しながら、必要に応じ自主基準を設定し、管理の質の向上を図っています。

地域活動として「大和の環境を良くする会」への参加や、大和市防火管理協会の会長会社としての要職も果たしております。テニスコートの無料開放や毎年8月には納涼祭を開催し、地域住民の方との交流を深めております。



環境責任者

平井 廣巳

環境方針

理 念

日本ビクター大和工場は経営基本スローガンのもと、すべての事業活動において、「地球環境の保全」に取り組み、国際社会から信頼される「良き企業市民」として持続的発展が可能な社会の実現に向かって努力します。

方 針

環境の改善は企業の社会的責任であることを深く認識し、音響・映像・情報通信機器関連及びアクセサリ、光ディスク、光ピックアップ、カタログの印刷物等の開発、設計、製造、販売等を中心とした事業活動並びに基礎研究、技術開発、全社政策立案及び販売等の本社機能において、環境改善及び汚染予防活動により推進します。

1. 事業活動により生じる環境影響を常に考慮し、環境負荷の継続的改善に努めます。
2. 環境保全活動を推進する為の、組織、体制を整備し、環境監査を実施することにより活動の継続的向上に努めます。
3. 環境関連の法規制及びその他の要求事項を遵守し、必要に応じ自主基準を設定し、管理の質の向上に努めます。
4. 次の項目に環境目的及び目標を設定し、継続的改善活動に重点的に取り組みます。
 - (1) 環境負荷低減型の商品開発
 - (2) 地球温暖化防止の為の、省エネルギー活動、電力の削減
 - (3) 地球資源の有効活用の為の、排出廃棄物削減とリサイクル活動
 - (4) 本社機能、環境施策の充実
 - 1) 生産資材グリーン調達の推進
 - 2) 鉛フリーはんだの導入
5. 地域社会との共存共栄に配慮し、積極的に協力します。
6. 従業員及び関連する業務委託業者の環境に関する意識を高め、全員で環境の改善に努めます。